

運転免許制度の推移

- | | |
|----------|--|
| 1 大正8.1 | 運転免許、試験制度の始まり
自動車運転免許制度が統一され、三ツ沢公園等で技能試験
横浜開港記念館で学科試験を実施、免許証は知事の発行 |
| 2 昭和6.3 | 横浜市神奈川区六角橋に神奈川県自動車免許試験場を設置 |
| 3 昭和23.3 | 運転免許証は県公安委員会の発行となる |

年別	交通安全協会関係	警察 関係団体 社会情勢等
昭和 23	5月 昭和22年自家用組合主体の「交通安全協会」から「鶴見交通安全協会」と改め創立 (初代会長 筒井廣一)	1.26 帝銀事件発生
〃 28	6.1 交通安全思想普及と区民の事故防止を図るため、鶴見交通安全協会規約制定	2. 1 NHKテレビ本放送開始
〃 29	4月 協会事務所を平安町新栄運輸(株)内に置く 12.31 鶴見区内の交通死者史上最高 53名を記録	7. 1 現行警察制度発足神奈川県警察発足 (自治体警察解消) 7.6 横浜市営トロリーバス運行開始
〃 39	5月 鶴見交通安全協会事務所を新栄運輸(株)内から、鶴見警察署に移転	3. 1 横浜、川崎市内で交通切符制度適用
〃 40	6月 鶴見交通安全協会交通事故相談業務開始 (区役所市民相談室内)	1.1 伊豆大島で大火 (340戸全焼)
〃 45	6月 安全協会の事業拡大に伴い総務、財務、企画、事業、教育、広報、地域対策、涉外の各部設置	3. 31 日航「よど号」事件発生 12.31 交通死者全国史上最高記録(16,756人)
〃 50	6.1 鶴見交通安全協会会則を施行 (昭和28年施行の鶴見交通安全協会規約は廃止) 11.15 鶴見交通安全協会創立第25周年記念式典開催(鶴見公会堂)	3.1 新幹線博多まで開通 5. 7 エリザベス英女王来日
〃 56	2.12 鶴見警察署新庁舎落成 (安協事務室同署内) 10月 鶴見交通安全協会会长代行に林一男就任	3.19 神戸ポートピア81開幕 3.31 横浜横須賀道路(狩場~朝比奈間)開通 (保土ヶ谷バイパスと接続)
〃 61	5.1 鶴見交通安全協会会长に東海林昭市郎(第4代会長)就任	5. 4 東京サミット開催
平成5	4.1 鶴見安協窓口で免許証郵送業務開始 5.7 免許更新手数料の改正 (優良運転者2,900 一般運転者3,900)	春 政府交通渋滞緩和対策5ヶ年計画策定 春 超金利時代突入
平成8	4.8 春の全国交通安全運動 前巨人軍原辰徳氏オープニングパレード実施 (一日鶴見警察署長委嘱)	春 ダイオキシン(有機塩素化合物) 小規模焼却場で多発社会問題
平成29	6月 鶴見交通安全協会会长に堀晃一(第5代会長)就任	春 トランプ大統領の就任

令和2年		鶴見交通安全協会会长に大野慶太 (第6代会長)就任	春	コロナウィルス緊急事態宣言
令和7年	4月 6月 8月	窓口の証紙販売業務が廃止 一般社団法人に組織変更 免許更新が予約制に変更	夏	戦後80年